

小学校理科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	石狩浜周辺の散策	
日時	平成29年 7月27日(木)	
会場	石狩浜及び石狩川河口付近	
講師	内藤 華子 氏 (NPO法人いしかり海辺ファンクラブ 理事)	
参加者	41名	
研修会 の 様子		<p>内藤氏を含む5名の講師の方にご協力をいただきました。5グループに分かれてのフィールドワークです。それぞれの講師の方の説明も多岐にわたり、非常に興味深いものでした。</p> <p>「ハマナスの丘公園」はもともと「ハマボウフウ」という植物の保護を目的に作られました。ハマボウフウの乱獲が進んだからということです。茎の部分が非常に珍味ということで、今でもひそかに持ち出す人がいるようです。</p> <p>また、石狩浜のような自然の植生が保存されている場所は国土の0.3%ほどしかなく、学術的にも非常に貴重な場所だということです。そのため、草索性の鳥や昆虫、植物の宝庫であります。多様性も見られ、植物で200種、野鳥で100種が生息しているとのことでした。</p>
		<p>1892年に作られた灯台は海岸線から1300m離れたところにあります。建設当時は海岸線付近にありましたが、石狩川流域の大規模開発・茨戸川の直線化による土砂の流入により、灯台より先に1300mも土砂が堆積した結果です。年平均20mの堆積という講師の方の話に参加者から驚きの声が上がりました。また、石狩川河口付近は毎年、冬の厳しさの度合いにより形を大きく変えるとのことでした。</p> <p>石狩川の河口では、砂鉄も堆積し、講師の方が用意して下さった磁石を用いて、砂鉄の採集も行われました。(右下の写真)</p> <p>※右上の写真…浜崖(1年で5cmほど堆積した層) ※左上の写真…ハマボウフウ</p>